



山梨県学力把握調査



授業改善の ***Point***

山梨県学力把握調査 中学校 国語

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
5,837人	26問	65.4	66.7	-1.3

		県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
領域	言葉の特徴や使い方に関する事項	72.2	72.4	-0.2
	情報の扱い方に関する事項	47.1	46.6	0.5
	我が国の言語文化に関する事項	89.9	89.4	0.5
	話すこと・聞くこと	61.1	62.6	-1.5
	書くこと	56.9	63.6	-6.7
	読むこと	61.0	60.3	0.7
観点	知識・技能	69.4	69.6	-0.2
	思考・判断・表現	60.0	62.0	-2.0
	主体的に学習に取り組む態度	47.9	52.3	-4.4
解答形式	選択式	66.7	67.3	-0.6
	短答式	74.3	74.2	0.1
	記述式	49.6	54.3	-4.7

設問別正答率										
通し 番号	解答 形式	観点			領域					
		知	思	態	言葉	情報	言語	話聞	書	読
1	選択	◎						◎		
2	選択	◎						◎		
3	記述	◎	◎					◎		
4	短答	◎			◎					
5	短答	◎			◎					
6	短答	◎			◎					
7	短答	◎			◎					
8	短答	◎			◎					
9	短答	◎			◎					
10	短答	◎					◎			
11	短答	◎			◎					
		問題の内容								
		出題のねらい								
		県正答率 (%)								
		全国正答率 (%)								
		全国との差 (ポイント)								
		必要に応じて記録しながら話の内容を捉えている。								
		自分の考えや根拠が明確になるように、話の構成を考えている。								
		話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。								
		第1学年までに学習した漢字を正しく読んでいる。								
		小学校で学習した漢字を正しく書いている。								
		歴史的仮名遣いについて理解している。								
		単語について理解している。								

12	選択	◎		◎							文法・語句に関する事項	文節の関係について理解している。	42.6	43.0	-0.4
13	選択	◎		◎								故事成語について理解している。	84.2	84.0	0.2
14	選択		◎							◎	説明的な文章の内容を読み取る	文章の内容について叙述を基に捉えている。	59.9	57.3	2.6
15	短答	◎	◎		◎					◎		情報と情報との関係について理解し、必要な情報に着目して、内容を解釈している。	56.4	53.6	2.8
16	選択		◎							◎		文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。	41.5	40.2	1.3
17	選択		◎							◎	文学的な文章の内容を読み取る	登場人物の心情について、描写を基に捉えている。	73.6	74.8	-1.2
18	選択		◎							◎		文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。	71.0	72.6	-1.6
19	選択		◎							◎		表現の効果について、根拠を明確にして考えている。	63.8	63.5	0.3
20	選択		◎						◎		こま遊びについてスピーチをする	自分の考えが明確になるように、話の構成を考えている。	43.3	47.5	-4.2
21	選択		◎						◎			相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。	69.2	70.7	-1.5
22	記述	◎	◎	◎		◎		◎				情報と情報との関係について理解し、自分の考えが明確になるように、話の構成を考えている。	37.7	39.6	-1.9
23	記述		◎	◎						◎	文章を書く	指定された長さで文章を書いている。	61.3	69.4	-8.1
24	記述		◎							◎		2段落構成で文章を書いている。	58.4	64.3	-5.9
25	記述		◎	◎						◎		読み取った内容を明確にして書いている。	54.9	59.8	-4.9
26	記述		◎	◎						◎		自分の考えを明確にして書いている。	52.9	61.0	-8.1

【観点について】

観点の表記の意味は右記の通りです。(知)知識・技能、(思)思考・判断・表現、(態)主体的に学習に取り組む態度

【領域について】(言葉)言葉の特徴や使い方に関する事項、(情報)情報の扱い方に関する事項、(言語)我が国の言語文化に関する事項、(話聞)話すこと・聞くこと、(書)書くこと、(読)読むこと

成果及び課題が見られる設問は、主に「県正答率」「全国正答率との差」を踏まえて、取り上げています。

【成果が見られる設問】

通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
11	68.0	64.6	短答	3.4
問題の内容	文法・語句に関する事項			
出題のねらい	単語について理解している。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
15	56.4	53.6	短答	2.8
問題の内容	説明的な文章の内容を読み取る			
出題のねらい	情報と情報との関係について理解し、必要な情報に着目して、内容を解釈している。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
13	84.2	84.0	選択	0.2
問題の内容	文法・語句に関する事項			
出題のねらい	故事成語について理解している。			

【課題が見られる設問】☆次のページに「話すこと」の具体的な授業例を提示

通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
3	32.5	31.6	記述	0.9
問題の内容	話し合いの内容を聞き取る			
出題のねらい	話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。			
授業改善の手立て	実際に記録を取りながら話し合いを行うなどの学習活動の中で、それぞれの話し合いの前に、話し合いの目的や到達点を全体で確認したり、目指している到達点に向けて取り上げる話題をどのように絞り込めばよいのかについて考えたりするなど、話し合いの展開を捉えながら、自分の考えや集団としての考えをまとめるよう、指導することが大切である。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
22	37.7	39.6	記述	-1.9
問題の内容	こま遊びについてスピーチをする			
出題のねらい	情報と情報との関係について理解し、自分の考えが明確になるように、話の構成を考えている。			
授業改善の手立て	紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見などを述べたりする学習活動の中で、何のために紹介したり報告したりするのかという目的を明確にもたせることが大切である。その上で、聞き手の興味関心やもっている情報などを加味しながら、伝えるべきこと(話の中心的部分)と説明や事例(付加的な部分)を分けて話を構成させるように指導することも効果的である。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
26	52.9	61.0	記述	-8.1
問題の内容	文章を書く			
出題のねらい	自分の考えを明確にして書いている。			
授業改善の手立て	課題に沿って文章や図表などから必要な情報を根拠として取り出して、自分の考えを書くなどの学習活動の中で、取り出した情報が自分の伝えたいことの根拠としてふさわしいかどうかを検討するとともに、読み手に分かりやすく伝わるように、必要に応じて取り出した情報を引用したり、記述したりするだけでなく、自分の考えとのつながり(理由)を書き加えるように指導することが大切である。			

自分の考えや根拠が明確になるように 話の構成を考えることができる生徒



課題の見られる設問 ⑥(3)

スピーチのリハーサルを行っている場面で、友達からの複数のアドバイスを受け、それに応えるために調べた本の内容を使ってスピーチの言い方を直す問題

分析と課題

- ・聞き手に伝えたい話の中心的な部分とそれを支える付加的な部分に注意して、話の構成を考えることに課題が見られる。
- ・複数ある情報を適切に取り入れることができない生徒は、聞き手に伝わりやすいスピーチのために何が必要となるのか理解したり、整理したりすることに課題がある。

1 学年の学習で...

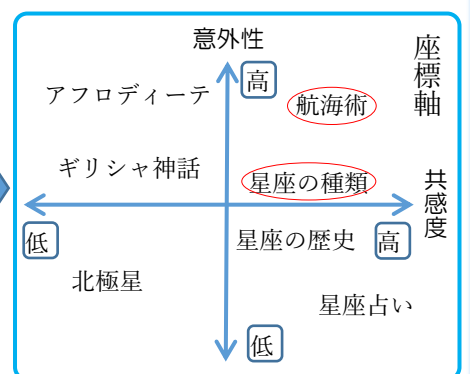
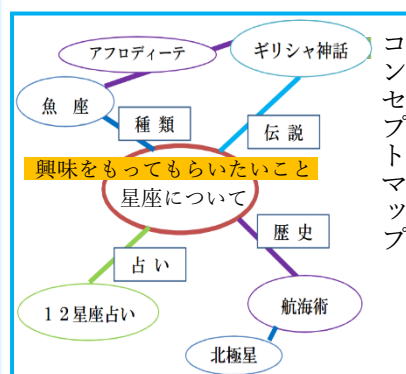
日々の学習における改善・充実

第1学年 A話すこと・聞くこと(1)ア・イ (イを重点化)

ア 伝え合う内容の検討 イ 中心的な部分と付加的な部分を考える 教材名:「話の構成を工夫しよう」(光村図書)

＜学習活動例＞
スピーチ練習後に再度話の構成を考える学習活動

中	初め	
- 航海術 - 星座の種類 - きっかけ 種類は「初め」に「中」には歴史	星座の説明	スピーチメモ
星座が航海術につながっていたことは、意外性がある	話題の提示	話す情報と意図
- 星座の種類を歴史に - 星座の歴史と航海術のつながりについて説明する。	- 問いかけからスタートする - 星座の説明に種類を追加	変更点
航海術の話の前に歴史について話した方が、話のつながりがわかり、星座に興味をもってもらえる。	問いかけから始めると聞き手の興味を引けてよい。	変更の意図



1回目の活動では、目的に対して必要となる複数の情報を収集するだけでなく、それらの情報が学習の目的とどのようなつながりがあるのか整理し、取り上げる情報を検討する。

前時では、目的に沿った情報を考えてスピーチ練習をしました。本時はそのことを振り返りながら、よりよいスピーチにしましょう。構成を見直し、変更する場合は、変更点だけでなく、なぜ変更した方がより相手に伝わるスピーチになるのか変更の意図も書くようにしましょう。



私のスピーチ練習で出た課題は、「中」の説明の部分で、私は、興味をもってもらいたい情報として「航海術」を選びましたが、聞く人の反応がよくなかったことです。



「中」の航海術の話題が、突然すぎて星座についてあまり知らないによくわからないんじゃないかな。航海術の話の前に、航海術につながる星座の歴史についての情報を入れた方が、話がわかると思うよ。



僕が聞いたスピーチでは、導入でスピーチの中心話題についての「問いかけ」をしていたのがあったけれど、「問いかけ」があると、興味をもってスピーチが聞けたよ。



山梨県学力把握調査 中学校 数学

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
5,838人	33問	58.7	56.6	2.1

		県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
領域	数と式	67.4	64.3	3.1
	図形	57.1	55.0	2.1
	関数	54.6	52.9	1.7
	データの活用	47.8	47.3	0.5
観点	知識・技能	60.6	58.7	1.9
	思考・判断・表現	51.7	48.6	3.1
	主体的に学習に取り組む態度	51.2	48.2	3.0
解答形式	選択式	61.8	60.4	1.4
	短答式	57.4	54.6	2.8
	記述式	39.4	34.9	4.5

設問別正答率													
通し 番号	解 答 形 式	観 点			領 域				問題の内容	出題のねらい	県 正 答 率 (%)	全 国 正 答 率 (%)	全 国 と の 差 (ポイント)
		知	思	態	数式	図形	関数	デ 活					
1	選択	◎			◎				正の数・負の数	四則計算の結果の特徴を的確に捉え、数の集合と四則計算の可能性について理解している。	70.8	71.5	-0.7
2	短答	◎			◎					負の数の減法ができる。	84.4	81.8	2.6
3	短答	◎			◎					負の数の累乗の計算ができる。	82.9	79.0	3.9
4	短答	◎			◎				文字式	1次式の減法ができる。	56.2	50.3	5.9
5	選択	◎			◎				正の数・負の数	素因数分解ができる。	67.8	63.8	4.0
6	短答	◎			◎				1次方程式	移項を必要としない1次方程式を解くことができる。	85.9	83.0	2.9
7	短答	◎			◎					1次方程式を解くことができる。	68.4	66.8	1.6
8	選択	◎			◎					比例式を解くことができる。	63.9	62.1	1.8
9	選択	◎			◎				正の数・負の数	負の数の大小関係について理解している。	55.9	51.0	4.9
10	選択	◎		◎◎					文字式	数量の間の関係を不等式に表すことができる。	47.7	45.0	2.7

11	短答	◎	◎	◎				1次方程式	与えられた文章題に対して、適切な1元1次方程式を立式することができる。	54.1	50.3	3.8
12	選択	◎	◎	◎				文字式	示された式に対応する図を選ぶことができる。	71.1	66.8	4.3
13	短答	◎		◎			◎	比例・反比例	関数について理解している。	41.1	34.9	6.2
14	選択	◎					◎		比例の関係での、x、yの値の変化の関係について理解している。	56.3	58.2	-1.9
15	選択	◎					◎		比例の関係におけるx、yの値から、比例の式に表すことができる。	54.6	51.8	2.8
16	選択	◎					◎		反比例の関係の表をもとに、xの値からyの値を求めることができる。	79.0	77.2	1.8
17	短答	◎		◎			◎		比例の式から、比例のグラフをかくことができる。	45.9	45.2	0.7
18	選択		◎	◎			◎		異なる2つの水そうに水を入れるとき、満水になるまでの正しい関係を示したグラフを選ぶことができる。	50.9	50.1	0.8
19	選択	◎					◎	平面図形	対称移動における対称の軸について理解している。	81.3	78.1	3.2
20	短答	◎		◎			◎		角の二等分線の性質を理解し、折り目の線を作図することができる。	35.0	30.6	4.4
21	短答	◎					◎	空間図形	おうぎ形の面積を求めることができる。	41.0	38.1	2.9
22	選択	◎					◎		直方体の辺のねじれの位置関係について理解している。	74.5	74.3	0.2
23	選択	◎					◎		球の表面積を求める式を理解している。	41.9	45.8	-3.9
24	選択	◎					◎		底面積が等しい円錐と円柱の体積の関係について理解している。	60.3	59.9	0.4
25	短答	◎					◎	データの分布の傾向	累積度数について理解している。	48.9	47.2	1.7
26	短答	◎					◎		度数分布表から、ある階級の相対度数を求める方法を理解している。	44.5	46.0	-1.5
27	選択	◎					◎		中央値に関する説明の中から正しい文を選ぶことができる。	54.3	55.3	-1.0
28	選択	◎		◎			◎	平面図形	線対称について理解している。	75.5	73.7	1.8
29	記述		◎	◎			◎		示された模様どうしの関係を、回転移動を用いて説明することができる。	40.0	32.8	7.2
30	選択		◎	◎			◎		示された模様の基となる三角形の模様を選ぶことができる。	64.6	61.9	2.7
31	短答	◎		◎			◎	データの分布の傾向	階級の度数について理解している。	58.1	56.7	1.4
32	選択		◎	◎			◎		2つの分布の傾向を比べるために相対度数を用いる理由を理解している。	41.9	41.5	0.4

33	記述	◎◎	◎	データの分布の傾向	示された考えが正しいことを、2つの度数折れ線から読み取った傾向をもとに、説明することができる。	38.8	36.9	1.9
----	----	----	---	-----------	---	------	------	-----

【観点について】観点の表記の意味は右記の通りです。(知)知識・技能、(思)思考・判断・表現、(態)主体的に学習に取り組む態度

【領域について】(数式)数と式、(図形)図形、(関数)関数、(デ活)データの活用

成果及び課題が見られる設問は、主に「県正答率」「全国正答率との差」を踏まえて、取り上げています。

【成果が見られる設問】

通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
29	40.0	32.8	記述	7.2
問題の内容	平面図形			
出題のねらい	示された模様どうしの関係を、回転移動を用いて説明することができる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
12	71.1	66.8	選択	4.3
問題の内容	文字式			
出題のねらい	示された式に対応する図を選ぶことができる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
5	67.8	63.8	選択	4.0
問題の内容	正の数・負の数			
出題のねらい	素因数分解ができる。			

【課題が見られる設問】☆次のページに「空間図形」の具体的な授業例を提示

通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
23	41.9	45.8	選択	-3.9
問題の内容	空間図形			
出題のねらい	球の表面積を求める式を理解している。			
授業改善の手立て	球の表面積を実感を伴って理解できるように指導することが大切である。そのために、模型とひもを用いて実験を行うなど、確かめる場面を設定することが考えられる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
26	44.5	46.0	短答	-1.5
問題の内容	データの分布の傾向			
出題のねらい	度数分布表から、ある階級の相対度数を求める方法を理解している。			
授業改善の手立て	相対度数の必要性和意味について理解できるようにする。大きさの異なる二つ以上の集団のデータの傾向を読み取る活動を行う際に、ある階級の度数が総度数に占める割合を求めて、相対度数の必要性和意味についての理解を深められるように指導することが大切である。生徒にとって身近な場面で二つ以上の集団のデータを収集し、それらのデータの傾向を調べる際、総度数が異なる場合がある。意図的にそのような場面を取り上げ、階級の度数で単純に比較できないことを実感することで、相対度数の必要性和意味について理解し、相対度数を求められるように指導することが考えられる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
20	35.0	30.6	短答	4.4
問題の内容	平面図形			
出題のねらい	角の二等分線の性質を理解し、折り目の線を作図することができる。			
授業改善の手立て	観察や操作を通して図形がもつ性質を直観的に捉え、その操作を基本的な作図と結びつけて論理的に考察し表現できるように指導することが大切である。紙を折るという操作を通して、等しい線分や角を見だし、折り目の線がどのような性質をもつか考え、その上でどのような直線を作図すればよいかを判断できるように指導することが考えられる。			

実験を通して、立体図形の表面積や体積の求め方を考察し表現することができる生徒



課題の見られる設問

17 (1)

球の表面積を求める式を選択肢の中から選んで答える問題

分析と課題

球の表面積を求める式と体積を求める式を混同している生徒がいると考えられる。球の表面積や体積を求める式は、生徒が暗記に頼ってしまいがちな箇所であるため、知識の定着が低いことが課題である。

模型を用いたり実験による測定を行ったりして、実感に伴って理解できるようにすることが大切である。



日々の学習における改善・充実 学年の学習で...

T:下の実験のように、半球の曲面の部分に巻きつけたひもをほどいて、半球の円の部分に巻きつけ直します。このとき、半球の曲面の部分に巻きつけたひもの長さで円の部分に巻きつけ直したひもの長さには、どのような関係があるのでしょうか。



〈実験〉



S:どんな関係があるのかな。

S:実験してみたいな。

T:実験して、調べてみましょう。

S:円の部分をちょうど2回巻きつけることができたよ。



T:この実験の結果から、どのようなことがわかりますか。

S:半球の曲面の部分に巻きつけたひもの長さは、円の部分を巻きつけるのに必要なひもの長さの2倍になります。

S:円の部分の面積の2倍が、半球の曲面の面積になることがわかります。

S:半球の曲面の面積と円の部分の面積を比で表すと、2:1になります。

こんな
問いかけ
してみませんか？



T:球の表面積と円の部分の面積を比べるとどうなりますか。

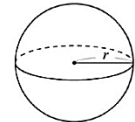
S:球の表面積は、半球の曲面の面積の2倍だから、球の表面積と円の部分の面積を比べると4:1になります。



S:実験から、球の表面積は円の部分の面積の4倍になることがわかりました。



T:実験の結果を基に、右の図の球の表面積を求める式を考えてみましょう。



S:実験から、球の表面積 S は、 $4 \times (\text{円の部分の面積})$ で求められることがわかったね。

S:球の半径は r だから、円の部分の面積は、 πr^2 になるね。

S:球の表面積を求める式は、 $S=4\pi r^2$ と表せるね。



S:球の体積を求める式についても考えてみたいな。



T:球の体積の求め方について考えていきましょう。

授業改善の
POINT

球の表面積や体積の公式を単に覚えさせるのではなく、実験や実測を通して確かめるなど、実感を伴って理解できるような場面を設定しよう！

山梨県学力把握調査 中学校 英語

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
5,845人	33問	56.2	55.9	0.3

		県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
領域	聞くこと	53.5	55.3	-1.8
	読むこと	60.2	60.6	-0.4
	書くこと	53.0	49.9	3.1
観点	知識・技能	61.6	62.5	-0.9
	思考・判断・表現	49.7	48.0	1.7
	主体的に学習に取り組む態度	51.4	50.9	0.5
解答形式	選択式	60.9	62.2	-1.3
	短答式	56.6	53.6	3.0
	記述式	45.1	42.0	3.1

設問別正答率												
通し 番号	解 答 形 式	観 点			領 域			問題の内容	出題のねらい	県 正 答 率 (%)	全 国 正 答 率 (%)	全 国 と の 差 (ポイント)
		知	思	態	聞	読	書					
1	選択	◎		◎	◎			リスニング (内容理解)	絵を適切に表している英文を聞き取ることができる。(数)	82.4	87.4	-5.0
2	選択	◎		◎	◎				絵を適切に表している英文を聞き取ることができる。(状況)	29.5	31.9	-2.4
3	選択	◎		◎	◎				絵を適切に表している英文を聞き取ることができる。(教科)	56.2	53.7	2.5
4	選択	◎		◎	◎			リスニング (対話文の応答)	対話の内容を聞き取り、適切に応答することができる。 (どこにいるかとたずねられて)	51.7	51.3	0.4
5	選択	◎		◎	◎				対話の内容を聞き取り、適切に応答することができる。 (何時に来たかとたずねられて)	54.5	58.8	-4.3
6	選択	◎		◎	◎				対話の内容を聞き取り、適切に応答することができる。 (彼はだれかとたずねられて)	49.9	52.4	-2.5
7	選択	◎		◎	◎			リスニング(さまざまな英 文の聞き取り)	英文の概要を聞き取ることができる。	92.9	97.3	-4.4
8	選択		◎	◎	◎				英文の要点を聞き取ることができる。	49.8	53.9	-4.1
9	記述		◎	◎	◎				英文を聞き取り、たずねられたことに対して自分の考えを英語で答えることができる。	14.7	11.4	3.3
10	選択	◎				◎		語形・語法の 知識・理解	語形・語法を理解することができる。 (一般動詞の過去形の疑問文)	47.0	47.4	-0.4
11	選択	◎				◎			語形・語法を理解することができる。 (疑問詞when)	60.5	61.8	-1.3

12	選択	◎				◎	語形・語法の知識・理解	語形・語法を理解することができる。 (be動詞were)	52.9	50.6	2.3
13	選択	◎				◎		語形・語法を理解することができる。 (代名詞の所有格)	40.9	41.7	-0.8
14	選択	◎				◎	語彙の知識・理解	対話文の情報を正しく読み取ることができる。	91.9	94.8	-2.9
15	選択	◎				◎		英文の情報を正しく読み取ることができる。	88.6	93.6	-5.0
16	選択	◎				◎	さまざまな英文の読み取り	英文と情報・条件をもとに、適切なものを選ぶことができる。	47.8	46.6	1.2
17	選択		◎			◎		必要な情報を読み取ることができる。	59.7	61.0	-1.3
18	選択		◎			◎		対話の流れと表から、登場人物の適切な発言を選ぶことができる。	66.5	66.8	-0.3
19	選択		◎			◎		対話の流れと表から、適切な語句を選ぶことができる。	58.3	59.4	-1.1
20	選択	◎				◎	長文の読み取り	チラシの内容を把握することができる。	61.2	61.8	-0.6
21	選択	◎				◎		代名詞Theyの内容を把握することができる。	62.4	62.0	0.4
22	選択		◎			◎		チラシの概要を理解することができる。	73.6	72.0	1.6
23	短答		◎			◎		読み取った内容をふまえて、対話文を完成させることができる。	31.5	28.6	2.9
24	短答	◎				◎	単語の並べかえによる英作文	英文を正しい語順で書くことができる。 (～'s+名詞)	50.8	42.6	8.2
25	短答	◎				◎		英文を正しい語順で書くことができる。(現在進行形の否定文)	87.5	89.5	-2.0
26	記述		◎	◎		◎	場面に応じて書く英作文	対話の流れに合った英文を書くことができる。 (whichを使ってどちらかをたずねる)	51.6	55.1	-3.5
27	記述		◎	◎		◎		対話の流れに合った英文を書くことができる。「(いっしょに行くことができるか)」と相手を誘う	20.1	17.8	2.3
28	記述		◎	◎		◎	情報に基づいて書く英作文	与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる。	54.6	53.0	1.6
29	記述		◎	◎		◎			36.6	31.1	5.5
30	記述		◎	◎		◎		与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制のcanを使った肯定文を正確に書くことができる。	50.3	44.5	5.8
31	記述		◎	◎		◎	3文以上の英作文	自分のことを名乗る文を書くことができる。	75.9	73.2	2.7
32	記述		◎	◎		◎		学校生活に関することや、学校生活で好きなことを書くことができる。	54.9	49.5	5.4
33	記述		◎	◎		◎		テーマに沿った3文以上の英文を書くことができる。	47.1	42.5	4.6

【観点について】観点の表記の意味は右記の通りです。(知)知識・技能、(思)思考・判断・表現、(態)主体的に学習に取り組む態度
 【領域について】(聞)聞くこと、(読)読むこと、(書)書くこと

成果及び課題が見られる設問は、主に「県正答率」「全国正答率との差」を踏まえて、取り上げています。

【成果が見られる設問】

通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
24	50.8	42.6	短答	8.2
問題の内容	単語の並べかえによる英作文			
出題のねらい	英文を正しい語順で書くことができる。(～'s＋名詞)			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
30	50.4	44.5	記述	5.9
問題の内容	情報に基づいて書く英作文			
出題のねらい	与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制のcanを使った肯定文を正確に書くことができる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
32	54.9	49.5	記述	5.4
問題の内容	3文以上英作文			
出題のねらい	学校生活に関することや、学校生活で好きなことについての文を書き表すことができる。			

【課題が見られる設問】★次のページに「領域統合」に取り組むための授業例を提示

通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
8	49.8	53.9	選択	-4.1
問題の内容	リスニング(さまざまな英文の聞き取り)			
出題のねらい	英文の要点を聞き取ることができる。			
授業改善の手立て	目的をもって英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができるように指導したい。そのためには、聞く活動の前に、教師からの発問等により場面設定や話し手の立場などを明確にすることが大切である。 ①場面設定を理解する②どういう情報が必要な状況であるか考える③自分が必要とする情報と関連する語句に着目して目的をもって聞き取る、といった手順で聞くことの言語活動を行うことが考えられる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
17	59.7	61.0	選択	-1.3
問題の内容	リーディング(さまざまな英文の読み取り)			
出題のねらい	必要な情報を読み取ることができる。			
授業改善の手立て	授業での言語活動やパフォーマンステスト、ペーパーテストなどで、広告、メニュー、メール、メモ、グラフなど、様々な形式の英語を読むことを通して、目的や場面、状況に応じて、必要な情報を捉えさせる活動を行いたい。具体的には、生徒が各自の判断で必要な情報を選び線を引いたり、教師が「必要な情報を探するためのキーワードは何か?」といった発問をしながら生徒から引き出すことも考えられる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
27	20.2	17.8	記述	2.4
問題の内容	場面に応じて書く英作文			
出題のねらい	対話の流れにあった英文を書くことができる。(「いっしょに行けるか」と相手を誘う)			
授業改善の手立て	毎時間継続的に短時間で言う活動(Small Talk等)を活用して、話すこと[やり取り]の活動に取り組む、質問したり答えたりしながらやり取りをする力を育成したい。言語活動では、表現内容の適切さや英語使用の正確さに気付かせたり、生徒に考えを整理させたりすることを何度も繰り返して、対話の流れに適切に応じる力を身に付けていくことが大切である。さらに、やり取りした内容を書くことへつなげていくことで、正確に書く力の向上も図りたい。			

こんな姿を
めざしたい!!



目的・場面・状況に応じて、 質問したり答えたりできる生徒

課題の見られる設問

5・10 (2)

- ⑤ リスニング（さまざまな英文の聞き取り）
→英文を聞き取り、たずねられたことに対して
自分の考えを英語で書いて答える問題。
- ⑩ (2) 場面に応じて質問をする英作文の問題。
→前後の対話の流れに合った英文を書く問題。

分析と課題

- ・聞いたり読んだりして把握した内容に適切に
応じることに課題がある。
- ・聞いたり読んだりしたことに対して、自分の考
えや気持ちを表現する活動に慣れていない。
- ・内容がわかっているにもかかわらず、英語で書く言語面でつ
まずいている場合も多い。

課題改善のために…

- ・聞いたり読んだりした内容に関して、即興性のあるやり取りや自分の考えや気持ちを表現する
言語活動に取り組む。
- ・「話して書く」といった領域統合型の言語活動に取り組む。

読むことの

活動のあとに…

例えば、教科書で日本文化に
ついての話を読んだあとに…

What do you think?

Small Talk①

I think Japanese
Pop culture is
becoming popular.

I think so too.
For example,
anime and manga.

・・・(次は何を言ったらいいかな?)

中間指導①(内容面を意識)

What are their
good points?

What will you
say next?

生徒とやり取りをし
ながら、生徒から考
えなどを引き出す。

Small Talk②

I think ~.

I heard that ~.

We can read
manga English.

Oh, really.
Did you read it?

中間指導②(言語面を意識)

気になることは?

何を聞いたかったのかな?

どうすれば、伝わる?

活動→指導→活動→指導・・・を繰り返す。

日々の学習における改善・充実

こんな
問いかけ
してみませんか?

Now, let's write your
ideas on this topic.

Writing Time①

教科書で読んだことや
友だちとのやり取り
をもとに…

やり取りしたときの
Aさんの意見も良か
ったから、取り入れ
てみよう

Sharing Time①

Let's share!

What are B-san's
good points?

I think Japanese pop culture is becoming
more popular. Many people around the
world love Japanese anime and manga these
days. They can watch and read them in
English and enjoy easily through the
internet. I'm really glad that many people
love them. Through Japanese pop culture, I
want them to become interested in Japanese
traditional culture.

大型提示装置等を用い、生徒とやり取りをしながら
内容面、言語面の良さを共有する。

→自己調整につなげる。

Writing Time②

Sharing Time②

Let's share with
your friends.

内容で参考になることはあるかな?
英語の間違いはないかな?

授業改善の
POINT

- ・学習したことを「自分なら…」と考えさせ、気軽
に、日常的にアウトプットする場面をつくる。
- ・中間指導では、内容面と言語面の指導を意識する。
- ・自分が使った英語を振り返る場面をつくる。